

# Week end トランペットを 吹いて40年

建築部設備工事管理部部長  
石井健次



です。

次に二つの夢についてご紹介  
します。一つ目は、自分の演奏  
をスタジオ録音し「Solo  
ALBUM CD」を制作することで  
した。ところが楽団仲間の協力  
で2000年秋に実現しまし  
た。CDの評判は「彼の演奏は柔  
らかく暖かい音色に包まれ、空  
間をも揺るがすビブラートが聴  
く者の琴線に触れて共感する」  
「癒し系の演奏」など高評を得  
ております。

二つ目は、「トランペット協  
奏曲」を演奏することです。心  
技体を充実させないと吹き切れ  
ない難曲ですが「成せば成る」  
と「挑戦」を心に秘めながら、  
この秋のコンサートでの演奏に  
向け練習に励んでおります。

私にとってTPは生きがいであ  
り若さを保つ秘薬でもありま  
す。楽器演奏は右脳が活性化す  
ると言われており認知症予防に  
繋がればと期待は大です。

以上述べてきましたが、40年  
前のTPとの出会いと健康と夢の  
実現に感謝したいと思います。  
今後も次の夢を描きその実現に  
向け継続的な精進を重ねなが  
ら、生涯現役のトランペッター  
で在りたいと思います。皆様方  
の参考になれば幸いです。

私は音楽生活40年となりま  
す。「13歳から40年間トランペ  
ット(以下TP)を吹き続けてい  
ます」ということで私の「趣味  
と夢」についてご紹介します。  
私のTPとの出会いは、中学校  
のブラスバンドです。初めてTP  
を手に持ち搾り出すような音が  
出た瞬間の感動を今でも明確に  
覚えています。当時、二二・口  
ツンが「夜空のTP」という名曲  
で一世を風靡していました。高  
校では吹奏楽の全国レベルの某  
工高で著名な指導者と出会い、  
TP人生が確固たるモノになりま  
した。

高校卒業を前にした秋から音  
楽の道に進むべく音大受験を目  
指しますが諸事情で断念。19  
70年に超高層ビルに憧れ鹿島  
に入社しました。仕事の傍ら、  
TPをやめられず新交響吹奏楽団  
に入団しました。以来入団34年  
となりますが、特に印象深いこ  
とは団長の時にアマチュア初の  
「サントリーホール」での満席  
コンサートを企画し成功させた  
ことです。

ここでTPについて紹介しま  
す。マウスピースと三本のピス  
トンを操作しながら演奏しま  
す。小型ですが管楽器の中で最  
も体力を使うとても難しい楽器